

## 【事前選考:評価項目と評価基準】

## ■申請理由書

評価項目:出願理由(将来のビジョン)問題意識と展望

ポイント	充足内容
4	出願理由が明確に述べられていて本事業の趣旨に合致している。出願理由とPBTSで提案する内容とのつながりも明快に述べられている。博士課程での研究目的が問題意識とともに、はっきり記述されている。大学院での自分の成長のイメージ、学位取得後の展望も明確に定められている。
3	本事業の趣旨に合致した出願理由が述べられている。博士課程での研究目的とPBTSとのつながり、自分の成長のイメージに触れている。学位取得後の展望についても述べられ
2	本事業の趣旨に沿う出願理由と学位取得後の展望が述べられている。
1	出願理由に、本事業の趣旨に合致しない部分、あるいは本事業ではあきらかに満たせないことが述べられている。あるいは学位取得後の展望と本事業の趣旨のあいだにあきらかな隔りがある。
0	出願理由の記述になっていない。

## ■PBTS提案書

評価項目(1):課題設定力・課題に対する意識

ポイント	充足内容
4	課題の背景記述が明快で、それに依拠して課題の中心となる問題(ポイント)をはっきりとらえており説得力がある。おこなうことの革新性を意識している。
3	課題の背景記述とともに課題の中心となる問題をおさえている。
2	課題の背景とそのなかでの課題設定と問題点は述べられている。しかしながら、扱うべき問題が絞り切れていない。
1	課題の背景と設定の記述はあるが、そのなかの問題の指摘が不明確である。
0	課題の背景記述と課題設定の関係性が不明、またはあいまい。

評価項目(2):計画性

ポイント	充足内容
4	課題遂行の方法について、具体的な手続きとスケジュールを明確にした記述(なにをいつまでにするか)がある。その内容に十分な論理性と遂行に関する妥当性がある。また危機管理的対応(とくに重要な点について予定していたことができなかつたときの対応)の記述
3	課題遂行の方法について、具体的な手続きとスケジュールを明確にした記述がある。
2	課題遂行の方法は記述されているが、手続きとスケジュールが具体的でない。
1	課題遂行の方法は記述されているが、その手続きが記述されていないか、不明確である。
0	課題遂行の方法が記述されていないか、あいまいである。

評価項目(3):PBTSへの理解

ポイント	充足内容
4	課題遂行にあたって必要となるチームワーク(チームスタディ)と他機関連携における協力関係について、その特性に依拠した(それならではの)具体的な記述がある。その内容の継続性と展望に関して説得力のある説明がある。
3	課題遂行にあたって必要となるチームワーク(チームスタディ)や他機関連携における協力関係についての具体的な記述がある。
2	課題遂行上、どのようにチームワーク(チームスタディ)や他機関連携をとるか記述してい
1	チームワーク(チームスタディ)について言及している。
0	チームについて言及していない。

評価項目(4):書き方

ポイント	充足内容
4	端的、明確に書かれており、提案書の構成が整理されていて、十分に推敲されている(誤字・脱字はない)。内容には知識の豊かさと奥行きが感じられる。論理の飛躍がなく、独善的でもない。種々の専門分野の読み手を想定した記述がなされ、広域からの興味や関心をひきつけることに配慮している。
3	必要なことが書かれ、文章構成に配慮され、推敲もなされている。記述にあたり必要な知識も認められる。
2	最低限必要なことは書かれている。しかしながら、一部に論理的に伝わりにくいところがあったり、推敲不十分な点を具体的に指摘できる。あきらかに不十分な知識にもとづく記
1	文章構成が粗野で、論理的に伝わりにくいところが多い。推敲不十分な点を具体的に指摘できる。あきらかに不十分な知識にもとづく記述が多い。
0	内容が整理されておらず、わかりにくい、または何が書いてあるかわからない。

\* 「評価項目と評価基準」は、随時改訂することがあるので最新版を確認すること